



H28 10月号 あおぞら保育園

10月に入り衣替えの季節になりました。しかし、実際は10月にいきなり厚手の冬服が必要になるわけではないので、様子を見ながら徐々に替えていくのが良さそうです。秋は夏場に比べると厚着になって動きにくくなるせいか、子どもたちが転びやすくけがの増える季節でもあります。服装も含め、おうちでも気にかけていきましょう。



### 10月の保健行事

★秋の健康診断…全園児対象  
10/14(金) 14:30~  
場所:会議室  
※0・1歳は各クラス

★身体測定 10/17(月)~10/21(金)

★『保健指導…はなのかみ方』

10/18(火) 3才・ことり組  
10/19(水) 4才・はな組  
10/20(木) 5才・つき組

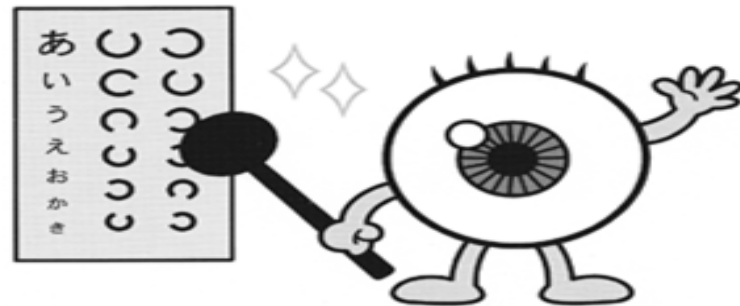
### 9月の感染症

とびひ……………6名  
RSウイルス……………3名  
突発性発疹……………1名  
溶連菌……………1名  
マイコプラズマ……………1名

※園では6月から9月にかけて『とびひ(伝染性膿痂疹)』が流行しました。抗生剤の塗り薬と内服薬の併用で治療が行われまので、症状がある場合は早めの受診をお勧めします。

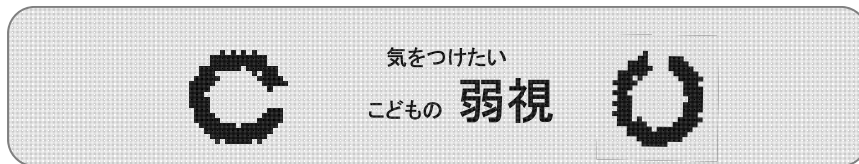
### 看護からのお願い

羽村市内の中学校で『マイコプラズマ肺炎』が流行しています。小中学校に兄弟がいらっしゃるご家庭は、学校などで流行っている感染症などの情報を把握していただければと思います。また、これからの季節『インフルエンザ』などの流行も考えられるので、感染予防の基本『うがい・手洗い・マスクの着用』を心がけましょう。



## 10月10日は『目の愛護デー』です。

目覚ましく視力の発達する0~6歳くらいまでの間は、子どもの目のために特に大切な時期。でも、子どもは自分では目の異常がわかりません。周りの大人がサインに気づいて、なるべく早く専門医につなげることが大切です。



視力が育つ途中で、斜視や屈折異常など何らかの異常によって発達が妨げられると、見たものを脳に伝える回路の成長が未発達のまま止まってしまいます。これが「弱視」です。

弱視は早期発見、早期治療が鍵。大きくなってからでは治療が間に合わないこともあります。